22. 集計

対象データの数値を集計し、一覧表示します。

22.1. 集計画面の表示

集計対象のレイヤを地図に追加します。



地図操作ツールバー上の処理一覧から「対象レイヤの集計」を選択し「実行」をクリックします。

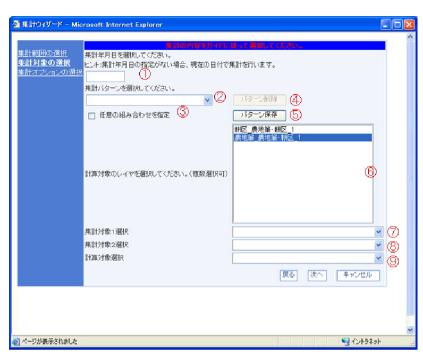


集計ウィザードが表示されます。集計範囲を選択し、「次へ」をクリックします。

地物を選択する:地物選択ツールが起動します。地図から地物を選択してください。

現在選択している地物を対象にする:地図上で選択状態の地物(または関連するレコード) で集計します

選択範囲とは関係なく、すべての地物を対象とする: レイヤ内の全レコードを使用して集計を行います。



集計対象の選択画面が表示されます。集計パターン、もしくは任意の集計対象を指定します。 任意の組み合わせを指定した場合、計算対象レイヤ、集計対象 1,2、計算対象を選択しま す。

- 1 集計年月日
- 2 集計パターン
- 3 任意の組み合わせを指定
- 4 パターン削除ボタン
- 5 パターン保存ボタン
- 6 対象レイヤ
- 7 集計対象1選択 ドロップダウンリスト
- 8 集計対象2選択 ドロップダウンリスト
- 9 計算対象選択

開始日時 / 終了日時を持つ団体個別属性で集計を行う場合、集計に使用する属性に日時の条件を 指定することができます。

保存されている集計パターンを読み込みます。

集積パターンを指定する場合にチェックします。

選択されている集計パターンを削除します。

指定した集計パターンに名前を付けて保存します。

集計を行う対象レイヤを選択します。

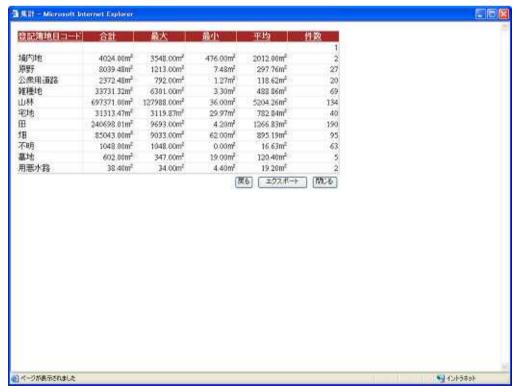
集計対象のカラムを選択します。集計のデータ単位(グループ)を指定します。

集計対象のカラムを選択します。集計のデータ単位(グループ)を指定します。

集計の計算対象のカラムを選択します。



集計オプションの選択画面が表示されます。コードのまま表示するかコードを値に変換するかを指定して「集計実施」をクリックします。



集計が実行され集計結果画面が表示されます。計算対象が数値型の場合、合計・最大・最

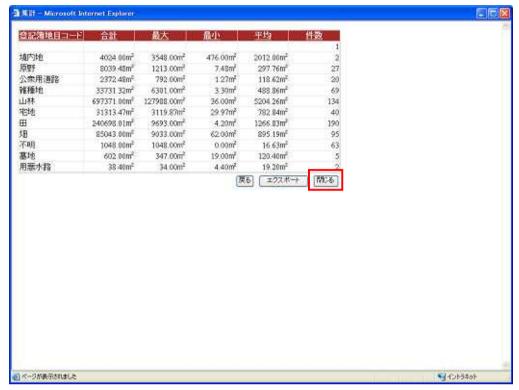
小・平均・件数が表示されます。計算対象が文字列型・日付型の場合、件数が表示されます。

集計結果をエクスポートする場合は「エクスポート」ボタンをクリックします。



ダウンロードダイアログが表示され、保存することができます。

22.2. 集計画面を閉じる



「閉じるボタン」をクリックすると、集計画面が閉じられます。